

この動画では
アニメ作品における
いわゆる”トラウマ”回を見ていきたいと思います
当然ネタバレを含みますのでご注意ください

最初に前フリ

【殴られウサギの逆襲だゾ】

ということで、嵐を呼ぶ5才児が活躍する
ほのぼの系日常ギャグアニメ
クレヨンしんちゃんにも、
数多くのホラー回、またの名を、トラウマ回があるのはご存じでしょうか

今回はそんな中からこちらのエピソード
”殴られウサギの逆襲だゾ”について、見ていきたいと思います

そもそも殴られウサギとは
ネネちゃんの家にある、
ウサギのぬいぐるみのこと

**ここからトラウマ回の
詳細（内容）を詳しく語る**

ネネちゃんがイライラした際、
その憂さ晴らしとして、ウサギのぬいぐるみを殴り
ストレスを解消している場面を見たことのある方も多いんじゃないでしょうか

そしてこれはネネちゃんのママも例外ではなく
この日も、旦那が夜遅くに残業の連絡をしてきたことに苛立ち
ウサギのぬいぐるみをタコ殴りにするママ

そしてネネちゃん自身もまた
見ていたアニメがつまらないと、ストレスのはけ口を求め、いつもようにウサギに八つ当たり

そしてその日の夜のこと

ふと喉が渇き、深夜遅く、水を飲みにたったネネちゃん

1階に降り、何気なく
リビングの方へと目をやると

そこにはついているはずのないテレビの明かりが

そしてそのテレビをぼーっと見ている
何者かの後ろ姿がありました

慌てて2階へと駆け戻り
ママを起こし、再度ママと一緒に様子を見に戻ると……

そこにはやはり
赤い画面が映し出されたテレビの前に、
まるで人間のように居座る
そう、あのウサギの後ろ姿が

この時点でかなりのトラウマもの

ネネちゃんのお母さんも
思わずか細い声で「ありえない…」と声を上げ、腰をぬかしてしまいます

悠々と、テレビを見ながら、プリンを食べていたウサギの
手にしていたスプーンに、そんな2人の様子が映り込み

ギロッと首だけを動かし、後ろを振り返るウサギ
そうして一言
「みたわね…」と呟く様は

どう考えても、子供向けアニメとは思えない
まさにホラー作品さながらの演出

これにさらに慄きたじろぐ二人

そんなことはお構いなしと言わんばかりに

ただ淡々とあらすじを語るのみではなく、視聴者が、どの部分がトラウマものなのか、きちんとわかるように、主観的な表現を用いて文章で指摘しておく(視聴者の共感を呼ぶような表現を使う)

迫りくるウサギ

心なしかその等身もいつも以上に高く

” ごめんなさい、今まで酷いことして”

” お願い、許して” と懇願する二人をあっさりと捕まえ

” (なにを) 今更”

” すべてのぬいぐるみの名にかけて許すわけにはいかないわ”

” あなたたちにはバチが当たるのよ” と

恐ろしいことを囁くウサギ

そしてウサギは今まで殴られた分の憂さを晴らすかのように
2人を徹底的に、自身の召使いかのようにこき使うのでした

これにはとうとう弱音を吐くネネちゃん

そしてぼそっと思わず不満を漏らしてしまうママ

これに怒ったウサギが

” こんな性格にしたのは誰なのよ” と2人に襲いかかったところで目が覚めます

そうまさかの夢オチ

……かと思いきや

ネネちゃんが1階へと降りてみると

キッチンのイスには、そうあのウサギの人形が座っていました

そこにママが来てこう言います

” たまには、ウサギちゃんにもジュースあげてみようかなって
ぬいぐるみでも、大事にしてあげないと”

恐る恐るウサギに近づき、触れてみるネネちゃん

反応はありません

……やっぱりなんてことないいつも人形だ

あれはやっぱり単なる夢だったんだとほっと一息ついたその瞬間

ウサギの人形がギロッとこちらを振り返ったかと思えば

そのままネネちゃんの方へとずさっと倒れてきました

驚きのあまりにキャーッと大声を発するネネちゃん

そんなネネちゃんの元へと駆けつけたママはなんと

ネネちゃんを心配するより先に

”ごめんなさい 目を覚まさないで”と

ウサギを抱え起こし

大慌てでイスに再び座させます

不審に思ったネネちゃんが

”もしかしてママ、この子の夢見たの？”と尋ねると

そう、案の定

ママもネネちゃんと全く同じ、ウサギの夢を見ていたのです

そこへ遊びに来るしんのすけ

しかし二人は当然それどころではありません

同じ夢を見たことについて夢中になって話し合っているその瞬間

「殴って…」と先ほどのウサギが再び2人の目の前に現れます

これにはふたりとも恐怖のあまり、即座に土下座するも

しかしこれはしんのすけのいたずらだったというオチで

この回は終了

しかしラストのカットはいたずらを仕掛けたしんのすけではなく

意味深にこちらを見つめる、ウサギのぬいぐるみの顔で終わるという

なんともコワイオチ

……まさしく、子供時代に見ていたら
それこそ一人ではトイレに立てなくなってしまう
……そんなトラウマ回なのではないでしょうか

【メイドインアビス】

隅々まで探索されつくした世界に
唯一残された秘境の大穴・アビス

どこまで続くとも知れない深く巨大なその縦穴には、
奇妙奇怪な生物たちが生息し、
今の人類では作りえない、貴重な遺物が眠っている

アビスの不可思議に満ちた姿は人々を魅了し、
主人公たちも冒険へと繰り出すのであった

……というのが『メイドインアビス』の大まかなあらすじ

そしてそんなメイドインアビスで、最もトラウマシーンとして名高いのは
やはり人気キャラクター・ナナチにまつわるシーンなのではないでしょうか

ナナチ、そしてそんなナナチの唯一の親友ミーティは、
元々は普通の人間の子どもでした

しかし悪名高きボンドルドに騙され
仲良しの2人は、第6層の上昇負荷の実験体にされてしまいます

上昇負荷とは
本作の舞台”アビス”という巨大な縦穴の中で発生する奇妙な現象のことで

『クレヨンしんちゃん』ほど知名度がない、俗に言う深夜帯アニメに関しては、まずは何も知らない視聴者が見てもわかるようにきっちり大まかなあらすじを示し、その後に、こういったトラウマ要素があるのかといった部分にスポットライトを当てて語る

文字通り

下側から上に上がろうとする際には、体に負荷がかかるというもの

第1層程度からの上昇であれば

その負荷は軽い目まいや吐き気程度に収まるのですが…

今回は第6層からの上昇負荷実験ということで

その負荷は”人間性の喪失もしくは死”

そしてボンドルドが、今回実験しようとしていたのが

この2人分の上昇負荷を、ミーティ一人に引き受けさせることができるかというもの

この説明を、捕らえられ、怯える少女の目の前で、

淡々と言うボンドルドのこのシーンも、なかなか恐怖を感じさせる場面ではありますが

しかし本題はここからということで

次の瞬間、有無を言わず2人は第6層へと強制的に落とされます

涙を流しながらも

しかし眼前の、どうしようもない事実を受け入れたミーティは

持ち前の明るさで、ナナチにこう語りかけます

”大丈夫、大丈夫だよ。私が耐えるから。

だから、私が人間じゃなくなっちゃったら…

お願い、またナナチのところに、魂が還るように……！”

次の瞬間、この実験の真骨頂である、2人の引き上げがはじまり

ボンドルドの計画通り、ミーティがナナチの分まで、上昇不可を引き受けることに

上昇していく中で、”痛い痛い…”と苦しみ声を何度もあげながら

血を流し、熱を上げ、どんどんと姿かたちが原型を留めることもできず

肉塊へと変わっていくミーティ

あまりの辛さに”殺して…お願い…”と懇願するも虚しく

ついには言葉も話せなくなり

そしてその言葉とは裏腹に

2人分の上昇負荷を受けたことで、不死身の、
およそもとは人間だったとは思えない、悲惨な姿になってしまいます

そしてこの不死性を確かめるために

ボンドルドはミーティをさらに実験台として使い続けます

その手足をすり潰してみたりといった、

およそ人の所業とは思えない行為がミーティになされたであろう描写は

まさに、多くの視聴者にトラウマを植え付けたシーンと言えるんじゃないでしょうか

そしてこの後、ナナチがそんなミーティをなんとか救い出し

死ねなくなってしまったミーティを死なせてあげられる、そんな方法はないかと必死に探し求め

そしてラスト

いよいよナナチとミーティにとっての本当のお別れの瞬間は

泣けるシーンとしても名高いんじゃないでしょうか